

公表

事業所における自己評価結果 放課後等デイサービス

事業所名 もりっこ

公表日 令和7年3月29日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		発達支援室内で運動できるスペースを用意しています。場合によっては、近隣の公園等も利用しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		基準の配置に加え、お子さんの状態に対し職員数を増やして対応しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		環境調整、視覚化など行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		感染症対策の観点からも清潔を保持し、活動の内容により空間を分けてわかりやすいように工夫しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		お子さんの状態に合わせ、クールダウンの場所を用意したり、必要に応じて個別の対応をしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		利用後に個々の様子を振り返り、課題の取り組みについて共有する機会を多く持つようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		アンケートの結果により、今後少しでも改善できるようにしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		支援終了後、その都度必要なことを共有し、業務につなげるようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		職員の資質向上のために定期的な内部研修や、外部の研修に参加したり、報告するようにしています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		事業所に掲示、各ご家庭に配布しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			お子さんのニーズを引き出せるようにしていきたいと思います。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			お子さんの視点で考えていけるようにしていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		振り返り等行い共有する機会を持っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			適したアセスメントツールの検討も行っています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			進学、地域移行等ステージに沿って支援できるようにしていきたいと思います。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		月毎の計画の実施後振り返り、今後の計画を相談し決定しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		年間で計画し多くの体験や、必要に応じた活動を行えるようにしています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		SST等を始め個別、集団活動で、有効的に行えるようにしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		前回の利用時の様子を事前に確認し連携して行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		利用後にご家族からのお話、個々の様子を振り返り、共有する機会を持つようになっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		それぞれの取り組みの様子、ご家族からの相談等記録し、次につながるようになっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			見直し時期以外にも、本人の状況等をみて行えるようにしていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		様々な活動の中で体験ができるように支援しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		参加の仕方等含め、自分がどうしたいかを個々によって伝えていく方法を支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当者会議、ステップ会議等、お子さんの状況をしっかり把握し参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		関係機関とのつながりを大切に、連携が取れるようになっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		ご家庭にも協力して頂き、学校とも情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		就学前後で情報共有する機会を持つようになっています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		移行先との情報共有の会を設定し行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		児童発達支援センターが地域にはないが、他事業所と連携を図っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7			引き続き、地域でのイベント等の情報提供を行っていきます。
	33	（自立支援）協議会等積極的に参加しているか。	7		自立支援協議会、児童支援部会に積極的に参加し情報共有、課題についての検討等行っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		振り返りの時間を設定し、その日の様子を丁寧に伝えるように心がけています。その際にお子さんの状況や課題について共有理解が持てるようになっています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		職員がスタッフとして参加している市の自立支援協議会のペアトレの案内や、他の研修の情報提供を行っています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			なるべくゆっくり説明できるようにしていきたいと思っています。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			保護者のみでなく、お子さんの視点で考えていけるようにしていきます。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			丁寧に説明していくようにしたいと思っています。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		ご家庭での様子、学校での様子を伺う機会を持ち助言等出来るよう心掛けています。		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	保護者間等で交流できる機会を検討していきたいと思います。	保護者間等で交流できる機会を検討していきたいと思います。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		速やかに対応できるよう心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		7		情報発信の方法を工夫し積極的に行えるようにしていきたいと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		振り返りの際に、他のご家庭と距離をとり内容を伝える際に配慮しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		必要に応じて視覚支援などを行っています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	地域の方を招待する等法人の行事として行っていますが、事業所についての情報提供の仕方を工夫していきたいと思います。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	契約の際の説明のみでなく、周知の仕方を工夫します。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		法人の計画を基に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		利用前に必ず、確認をし、特別な配慮が必要なお子さんについては、すぐ見れる場所に情報を準備しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		7	アレルギー対応を必要とするお子さんが現在はおられません。保護者に以前アレルギー等どう対応されていたか等、事前に確認しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		計画により、研修や訓練の実施、又は環境を整えています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		利用開始時に説明を行ったり、避難時の経路等掲示したりしています。また、訓練実施の前にはお知らせしています。	実施後の内容等を全体に周知していきたいです。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットを共有したり、以前の事例を伝え、再発防止に努めるようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		計画により、研修会等を実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			現在は該当のお子さんはありませんが、身体拘束が必要か検討をしっかりと行っていきます。